

令和2年度 第3回久留米市上下水道事業運営審議会（要旨）

1 開催日時

令和2年11月27日(金) 13時30分から16時30分

2 会場

久留米市企業局庁舎 3階 第1会議室

3 出席委員・アドバイザー（名簿順）

・委員

広城吉成委員（会長）、香月孝文委員（副会長）、齊藤由里恵委員、
川村芳子委員、権藤裕子委員、野田周子委員、深山和義委員
計7名

・アドバイザー

古川幸司氏、三浦裕明氏 計2名

4 欠席者

・委員

大森洋子委員、倉八啓壽委員

5 事務局（市職員等）

徳永企業管理者、井上上下水道部長、名嶋上下水道部次長、住吉上下水道部技術担当次長、古賀上下水道部主幹、長野経理課長、柿原営業管理課長、橋本給排水設備課長、内野上水道整備課長、西依浄水管理センター所長、宮崎下水道整備課長、下川下水道施設課長、牧ノ内河川課長、その他事務局職員等12名、(株)NJS（久留米市上下水道事業経営戦略策定支援業務受託者）

【議事次第】

1 開会

2 議題

（1）報告事項

①第2回審議会議事録について

②久留米市の上下水道に関する市民アンケート調査結果について

（2）審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の素案について

I 素案の概要

II 水道事業

III 下水道事業

IV 計画の推進

3 その他

4 閉会

【配付資料】

- ・ 久留米市上下水道事業運営審議会委員名簿 ……資料（１）
- ・ 久留米市上下水道事業経営戦略（素案） ……資料（２）
- ・ 令和２年度久留米市上下水道事業運営審議会開催スケジュール ……資料（３）
- ・ 第３回久留米市上下水道事業運営審議会座席表 ……参考資料①
- ・ 令和２年度第２回久留米市上下水道事業運営審議会議事録（要旨） ……参考資料②
- ・ 久留米市の上下水道に関するアンケート調査（速報値）について……参考資料③

議事録要旨

1 開会

- 事務局より、委員の半数以上が出席しているため、会議が成立していることの報告
事務局より、企業管理者挨拶
- 広城会長より、傍聴者の確認⇒傍聴者なし

2 議題

（１）報告事項

- ①第２回審議会議事録について
（事務局より、参考資料②令和２年度第２回久留米市上下水道事業運営審議会議事録（要旨）を用いて説明）

≪質疑・応答≫

特になし

（１）報告事項

- ②久留米市の上下水道に関する市民アンケート調査結果について
（事務局より、参考資料②久留米市の上下水道に関するアンケート調査（速報値）について を用いて説明）

≪質疑・応答≫

○深山委員

このアンケート結果は、今後どのように経営戦略素案に反映されていくのか。

■事務局

アンケート結果については、経営戦略の参考資料として添付を考えている。今後実施するパブリックコメントとこのアンケート結果も踏まえながら、経営戦略に落とし込める内容については、内容を検討していきたいと考えている。

○三浦アドバイザー

回答者の属性について、回答者の年齢区分はわかるのか。上下水道に関する取組の住民周知といった点において、年代別の傾向分析もできるとより効果的と考える。

■事務局

地域性については一部考慮しているが、基本的にはランダム抽出としている。

○三浦アドバイザー

下水道使用料について、「高いと感じる」と回答されている方が、今後優先する施策としてどのような考えを持たれているのか、などクロス分析等も進めていただき、効果的な施策を打っていただきたい。

■事務局

貴重なご意見として頂戴したい。

(2) 審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の素案について

I 素案の概要について

(事務局より、資料(2)久留米市上下水道事業経営戦(素案)を用いて説明)

《質疑・応答》

特になし

(2) 審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の素案について

II 水道事業

(事務局より、資料(2)久留米市上下水道事業経営戦(素案)を用いて説明)

《質疑・応答》

○齊藤委員

資料のP66財源目標について、内部留保資金の目標を令和元年度以上としているのはどのような理由か。内部留保は投資に対して一定の割合で積み上げていくということをもう少し言及したほうがよいと考える。

■事務局

内部留保資金の規模はどの程度が適正かということは非常に難しいところがあるため、まずは今現在の水道事業の決算状況が一定程度安定状況が見られるため現在値を基準としている。目標としての記述については少し表現に工夫を加えさせていただきたい。

○香月副会長

資料の P67 給水収益の推移の表において、基本料金と従量料金に分けた数字を記載してほしい。本来は固定費の伸びを従量料金でカバーしていきたいが現状それが困難ということ、水量の減少により従量料金の確保が難しいため基本料金に目を向けなければならないという点を検討するために、内訳を明確にしていきたい。

■事務局

基本料金と従量料金の内訳を記載する形で表を再度整理させていただきたい。

○香月副会長

資料の P71 施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）、施設・設備の合理化（スペックダウン）について、これを最大限実施した際の運営上の影響、投資削減額を大まかでいいので教えてほしい。

■事務局

配水本管の更新事業において、設計段階でダウンサイジングを検討している。北部配水本管についてはダウンサイジングを実施済みであり、南部配水本管については現行と同口径で更新を実施する予定としている。また、中部配水本管については、今後の実施設計において詳細な管網解析を行いダウンサイジングが可能か検討していきたい。今後も管網更新を計画する際にはダウンサイジングを含め投資額削減の検討をしていきたいと考える。

○香月副会長

資料の P73～74 の投資・財政計画について、可能であれば追加で貸借対照表の推移を掲載してほしい。それによりキャッシュや固定資産の推移についても把握が可能となると考える。

■事務局

投資・財政計画の数字から見込める範囲で簡易の予定貸借対照表の作成は可能と考えるため、作成していずれかの形で掲載させていただきたい。

○広城会長

水道口径 13 ミリから 20 ミリに移行している点について、20 ミリのほうが基本料金が高いため、移行させることで収入を上げるという考え方なのか。

■事務局

13 ミリから 20 ミリへの口径変更については、13 ミリで使用できる水栓の数が 3 つまでと限られるため、老朽家屋の建て替えや新築の際に必然的に 20 ミリへ移行するという現状である。

○広城会長

資料のP70 図2-4-3について、この図を分かりやすく、見える化することにより水道料金の値上げの必要性を理解していただくことが重要であると考えます。

○広城会長

資料のP71に「筑後圏域を基本に、県の指導のもと」とあるので、古川アドバイザーより県の考えをお聞きできればと思う。

○古川アドバイザー

令和4年度までに水道広域化推進プランを策定する中で、今年度は現状分析、将来見通し・推計、課題の分析を実施している。将来推計に取り組んでいる中で、どの事業体も数年後の経営状況は非常に厳しくなっていると推察ができる。一方、一概に広域化といっても経営統合や事業統合をいきなりというのも、水道料金の違いなどといった大きなハードルがある。

推計結果が正式に出てからではあるが、今のところの方向性は可能のところから広域化を実施していこうというもの。筑後圏域については、各事業体の施設整備がほぼ完了しているため数年先、10年先といった事業統合は恐らく難しく、まずは事務の共同化や施設の共同利用といった提案になると予想する。

久留米市や筑後圏域の他の事業体、県南広域水道企業団が取り組もうとしていることを調整しながら、どのような広域化ができるのか、県と水道事業体で一緒になって考えていきたいという方向性をもって取り組んでいる。

○広城会長

久留米市においては筑後圏域を基本に広域化ということになると思うが、県においては各地域の特性を踏まえながら、ベストミックスな提案や各自治体に対するアドバイスができる提案をお願いしたい。

○齊藤委員

自立した経営を行っていくという点において、「県の指導の下」という表現が少し気になるので、別の表現にしてはどうか。

○広城会長

文言の工夫をしていただくということによいか。

■事務局

変更させていただきたい。

○深山委員

意見になるが、アンケートの結果も踏まえ、安易に水道料金を上げるということにならないよう、料金値上げ以外の手法について最大限検討していただきたい。

○広域会長

料金値上げをなるべく実施しなくていいよう最大限取り組んだ結果、それでも料金値上げをしなければならないという際に、それを理解していただくためには、「見える化」により十分な情報を住民の皆さんに提供して合意形成を図っていくことが重要だと思う。

○広域会長

ただいま出た意見で修正が発生した箇所については、それを反映した形で経営戦略案の作成をお願いする。

■事務局

了承

(2) 審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の素案について

III 下水道事業

(事務局より、資料(2)久留米市上下水道事業経営戦(素案)を用いて説明)

《質疑・応答》

○齊藤委員

資料のP135⑨広域化・共同化に記載されている「公共下水道と農業集落排水施設の統合」について、広域的な話なのか、久留米市の中での施設の統合なのか明確にわかりにくいので表現の工夫をお願いしたい。今後の取組みのP140の広域化の取組みとの関連性もわかりにくくなっている。

2点目に資料P138の繰入金について「一般会計の優先度に応じた」という表現は、繰出基準外の繰出があるという意味か。

■事務局

現時点での久留米市における下水道事業会計への繰出金は他自治体に比べ低い状況となっている。基準内繰出金の整理がこれまでできていないこともあり、投資・財政計画上は繰出金の額を現在の水準で一定額としているため雨水事業が増えていくことにより必然的に汚水事業に充てる繰出金が減少していく。現時点の水準でも基準内の経費がもう少しあるのではという点と、経費回収率が推定値で94.5%程度なのでその分は使用料で賄うこととして、それでも不足する分については使用者負担を求めるべきでない部分となるため、繰出金の適正性について引き続き財政部局との協議が必要と考えている。

○齊藤委員

雨水と汚水が分かれていないということなのか。汚水については1m³当たり150円を超えた部分についてが繰出基準内だと思うが、それがはっきり分かれていないのが久留米市の状況ということでしょうか。

■事務局

現状、前年度と同額の繰出金を経常的に充てている形になっているが、過去に設備投資した分の汚水資本費に合わせ、今後予定している雨水事業の資本費についてはかなり増大すると見込まれる。その負担のあり方について財政部局としっかり協議を行っていかねばいけないと考えており、そういった点も含めて、記載については検討していきたい。

○齊藤委員

企業会計適用から間がないこともあり、財政部局との繰出金の整理がまだきちんとなされていないという点についてももう少しわかるように記載してはどうか。

もう1点、資料のP139のグラフについて多少見づらさを感じるので、もう少し見えやすくできるのであればお願いしたい。

○広城会長

グラフについては見えやすくなるような工夫をお願いします。

○齊藤委員

全体を通して表現がさらっとしているイメージがある。もっと、企業努力をしている部分やそれでも経営的に厳しい状況というメッセージ性を含めるといいのではないか。

○広城会長

表現の工夫をお願いします。

○香月副会長

メッセージを強めるといった意味でも、水道事業同様、資料P137の使用料の推移の表において、基本料金と従量料金に分けた数字を記載してほしい。また、ダウンサイジングの効果、貸借対照表の掲載についても水道事業同様お願いしたい。

○広城会長

事務局、よろしいか。

■事務局

了承

○深山委員

先ほどの齊藤委員の意見とも関連するが、資料のP135事業費見込みについて、雨水施設の整備が約20%と記載があり、P140には財源について雨水は公費という記載もある。雨水対策については災害対策といった色彩も強いと考えるためそれを使用料で賄うといのは無理がある。また先ほど繰出金という話もあったが財政部局との協議をしっかり行ってほしい。

○広城会長

深山委員からあったように、市でできることをしっかり行ってほしい。
他にないようであれば、三浦アドバイザーに、下水道事業における収支構造適正化に向けた取組みの推進についての状況をお話したい。

○三浦アドバイザー

下水道の経営は、一つの管をより多くの人が使えば使うほど少ないコストで収入が確保できるため、経営的に安定するという状況になる。そのため、人口の集積があるところほど経営的には安定しており、久留米市の場合は全国的に見ると恵まれた条件である。ただし、下水道は自然勾配で流すシステムのため、市域が広く平らなところが広いほどポンプアップ等の費用を要し、地域毎にその経営条件が異なってくる。福岡県内の下水道使用料の状況を見ると、大都市ほど下水道の経営が安定していて低い使用料で事業が運営できている。小規模な自治体については人口密度が低く、管を集落まで布設するとなると投資もかかり使用者も少ないため、経営効率が低いという状況になる。

素案について、気づいた点、確認したい点を含め申し上げる。

資料P3 スtockマネジメントについてはすでに策定済みか、今年度中に策定するのか。

■事務局

暫定版は策定済みであり、完全版については今年度（令和2年度）中に策定予定である。

○三浦アドバイザー

資料P3の図の中にStockマネジメント計画が令和元年度策定となっており、本文の内容との乖離がある。また今回の投資・財政計画においては、暫定版のStockマネジメント計画を反映しているという理解でよろしいか。

■事務局

資料のP3の図のStockマネジメント計画の策定年度については、先ほど申し上げたとおり暫定版が策定済みで令和2年度に策定完了予定で取り組んでいる状況である。投資・財政計画については、今現在策定に取り組んでいるStockマネジメント計画と経営戦略との整合性を図りながら並行して取り組んでいるという状況である。

○三浦アドバイザー

資料のP76の1) 普及率と事業予算の推移の2段落目「国は汚水処理の10年概成を目指し、区域や整備手法等を見直しています」は、国が区域や整備手法を見直しているかのような表現になっているが、実際には都道府県構想の見直し、それに合わせた各自治体の構想の見直しという趣旨であるため、表現の適正化をお願いしたい。

また、掲載されているデータに古いものがあるため国土交通省の最新のデータを提供させていただきたい。水道事業も含めデータはなるべく最新ものをお願いしたい。

資料 P 84 3) 管路概要 について令和元年度末が 1,301 k m となっている一方で P 80 の表では汚水管路 1,268 k m となっており、数値の確認をお願いしたい。

資料 P 90 経営比較分析表について、ここに掲載されているのは狭義の公共下水道の数値だと思うが、農業集落排水など他の事業分は掲載しなくてよいのか。

資料 P 103 企業債償還のグラフの企業債（借入額）について令和 17 年度以降横ばいの金額となっているが事業量が変わらないという前提でこの数字になっているのか。

資料 P 105 事業の課題について、冒頭で使用料収入の減少を記載するのではなく、収支構造の適正化を図って、コスト低減を含めて下水道の経理効率化に取り組むということを前提に、それでもなお収入が不足するという場合に使用料収入について考えるという順番からすると、取り組むべき優先順位がより高いものを先に記載したほうがよいと考える。

資料 P 134 以降の投資・財政計画について、下水道事業の耐水化計画や広域化・共同化については今回の計画の中では反映できていない部分もあると思うが、今後のフォローアップの中でしっかり反映されていくと考えてよいのか。

資料 P 135 2) 事業費の見込みの最後の段落の「令和 12 年度までに 970 億円」となっていて、次ページの表の投資額の合計が 894 億円となっている。金額に乖離があるため確認をお願いしたい。

資料 P 136 の表の広域化・共同化事業について、令和 7 年度以降に金額が計上されているのは農業集落排水施設の統合の費用についてであれば、P 134 の目標 9 の記載内容については「統合の検討」とどまらず「統合の検討・実施」まで含めて記載するほうがより正確であると思う。

P 140 「(5) 広域化」とあるが「(5) 広域化・共同化」という表現がよりよいのではないかと思う。

○広域会長

修正すべき点については修正をお願いする。

ただいま出た意見により修正が発生した箇所については、反映した形で経営戦略案の作成をお願いする。

また、下水道に関しては国土交通省からの補助金の交付要件として、令和 2 年度以降少なくとも 5 年に 1 回の頻度で経費回収率向上に向けたロードマップと、その達成状況によっては補助金の確保が厳しくなることも踏まえて行動指針づくりをお願いしたい。

(2) 審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の素案について

IV 計画の推進

(事務局より、資料(2)久留米市上下水道事業経営戦略(素案)を用いて説明)

《質疑・応答》

特になし

○広城会長

(2) 審議事項①久留米市上下水道事業経営戦略の素案について IV計画の推進については事務局案を承認ということによろしいか。

《異議なし》

○広城会長

本日の会議を通して何かご意見はないか。

○齊藤委員

水道事業に関して、地下水利用というのも久留米市の一つの特徴であると思う。大口需要者が経費削減のために地下水を使用するところが増えているとよく言われているが、それについての対策、例えば使用水量が多い事業者への対応等はされているのか。

■事務局

大口需要者の地下水利用は久留米市においてもケースがある。以前は病院や工場等が多かったが、最近はお過システムのリースコストの低下から中小企業においても増えてきている状況である。特に久留米市は地下水が豊富であり取水制限等もない中で、地下水利用によりコストを下げるという傾向が強まっている。その対策について、他事業体については個別需給契約や割引等を実施しているところもあり、本市においても一定の研究はしているものの実現には至っていないという状況がある。今後もコスト削減のための地下水利用が広がっていくと想定されるため、対策について引き続き研究していく。

○齊藤委員

水道事業は、開栓を求められたら整備しなければならず、整備しても地下水を利用できれば料金収入が得られないという点が課題だと思う。水道の一般利用者に料金値上げとなって負担を強いることに繋がりがねないので、効果的な対策を久留米市が全国に先駆けて新しい発想などがあればと思って期待したい。

○広城会長

地下水が私水か公水かという問題や水循環基本法などとの関連など、様々検討する余地があると思う。

○川村委員

地下水は無料なので全然お金が要らないと喜んでいる方が実際にいらっしまった。
何か公平になるような方策を考えていただければうれしい。

○広城会長

地下水に関しては様々な難しい問題があるが、公平性について久留米市として何か
妥協点を見つけて頑張っていたきたい。

○三浦アドバイザー

地下水利用の方でも、下水道を使用すれば下水道使用料は負担している。下水道使
用料体系表の中に地下水の扱いについて特に記載はないが、そこについても使用料
を徴収しているということについてはアピールをしっかりと住民理解に繋げてほ
しい。

3 その他

- 事務局より、会議議事録の公開、パブリックコメントの実施、次回の審議会開催日
程（2月上旬から中旬を予定）について連絡

4 閉会

- 広城会長より、閉会のあいさつ